

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)11月
NO. 17

演劇ワークショップで達成感

～さくら独自カリキュラムにつなぐ～

来春開校する「庄内さくら学園」では、子どもたちの「対話力や表現力」を高めていくことを一つの目的として「さくら独自カリキュラム」の取り組みがすすめられます。それに向けてのモデル試行として10月24日(月)及び27日(木)に庄内さくら学園中学校1年生の子どもたちが、劇作家の平田オリザさんによる「演劇ワークショップ」に取り組みました。自分たちで台本を考え、作って、演じて、発表するまでを3時間連続の時間枠内で取り組んでいこうというものでした。

「転校生がやってきた」という設定の短いシナリオをベースに5～6人の班で話し合い、役割決めから台本作成、発表するまでを一人ひとりが積極的に取り組んでいる姿が見られました。1時間目は、まだまだぎこちなく、うまく工夫をするのが難しかったり設定に少し矛盾が見られた班もありました。「ひとつの言葉を変えると他のところも変えないとつじつまが合わなくなる。言葉をバトンのように受け渡すことの大切さを考えることが大切です。」との平田オリザさんのアドバイスをうけ、また他の班の様子を見ながら刺激され、3時間目の発表では見違えるような演出で、生き生き取り組む姿に変わっていたのが印象的でした。

各班の発表を受けて、平田オリザさんからは「大人の社会では、自分のやりたいことがそのままできることはあまりない。話し合っ、どうするかを『折り合い』をつけて決めていくことが大切になってくる。限られた時間で、みんなで考えて話し合っ、どうするかを決めて、さらにどうやって伝えるかまでを考えることが必要になってくるのです」とのふり返りの言葉をいただき終わっていきました。

◆私は、演劇が楽しいことだと改めて気づきました。みんなで一つのものを作り上げることが大切なのでためになりました。班で協力して仲も深まりました。先生が「ここはこうした方がいい」とアドバイスをくれて、なるほどと思った部分がたくさんありました。

◆友だちとの交流関係が増えたり、互いについて考えることができるようになったと思いました。最初は少し不安などもありましたが、ふだんの授業にない演劇を体験することができて良かったです。

◆今回の授業で班のみんなと協力できて、より仲が深まり、演劇の授業がこれからもあると、クラスでしゃべったことのない子ども距離が縮められて、とてもいい経験になったと思います。次もやりたいと思いました！！
(生徒の感想から)



野田小 閉校記念の航空写真の撮影

11月2日(水)、野田小学校では3月閉校を迎えるにあたって、記念の航空写真の撮影がありました。当日は秋晴れに恵まれ、絶好の「航空写真日和」(少し暑いぐらいでした)となりました。最初に、児童及び教職員の全員による集合写真(これは屋上から)をカメラマンの楽しく元気な指示のもとでとり、つづいて人文字の撮影へ移りました。庄内地域は大阪空港が近く、飛行機の着陸コースとなっているため、セスナ機が上空に来るタイミングは、空港の管制塔と確認のもとで初めて入れるので、いつ飛んでくるのかはなかなかわからないとのことでした。予定の時間を少し待ちましたが、10分ほど待っていたら学校上空に入ってきました。人文字は、野田小学校の校章をモチーフにしたもので、子どもたちは指示された通りしっかりポーズを決め、無事に撮り終えました。きっと上空から見る人文字は素晴らしいものとなったと思います。

